【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年9月26日(2024.9.26)

【国際公開番号】WO2023/136305
【出願番号】特願2023-574078(P2023-574078)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ 18/22(2006.01)
Ａ６１Ｂ 17/34(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ 18/22
Ａ６１Ｂ 17/34

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月19日(2024.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内腔を有する筒状の本体部と、
前記本体部の先端部に形成された針先部と、を備え、
前記針先部は、前記内腔の先端を閉止し、
前記針先部の針先端は、前記本体部の軸心と重複している穿刺針。
【請求項２】
前記内腔の先端は、前記軸心に沿う方向において、前記針先部の内側に配置されている請求項１に記載の穿刺針。
【請求項３】
前記内腔の先端部は、
前記軸心と重複しており、
先端側に向けてすぼむ形状とされている請求項１又は２に記載の穿刺針。
【請求項４】
前記針先端と前記内腔の先端とは、前記軸心に沿う方向で見た場合に重複している請求項３に記載の穿刺針。
【請求項５】
前記針先部は、多角錘形状である請求項１又は２に記載の穿刺針。
【請求項６】
内腔を有する筒状の本体部と、前記本体部の先端部に形成された針先部と、を有する穿刺針と、
先端から熱源となるレーザを照射可能なレーザファイバと、を備え、
前記針先部は、前記内腔の先端を閉止し、
前記針先部の針先端は、前記本体部の軸心と重複しており、
前記レーザファイバは、前記内腔に挿通されており、前記内腔を閉止する閉止部を介して前記針先部を加熱可能とされている焼灼針装置。
【請求項７】
前記内腔の先端部は、
前記軸心と重複しており、
先端側に向けてすぼむ形状とされており、

前記内腔の先端は、前記軸心に沿う方向において、前記針先部の内側に配置されており、

前記針先端と前記内腔の先端とは、前記軸心に沿う方向で見た場合に重複しており、

前記レーザファイバは、前記内腔に挿通された状態で、前記すぼむ形状により、前記軸心に沿う方向で見た場合に前記針先端と重複するように位置決めされて、前記針先部の真後ろから前記針先部を加熱可能とされている請求項６に記載の焼灼針装置。